

平成29年 網走市議会
平成28年度各会計決算審査特別委員会会議録
第5号 平成29年9月22日（金曜日）

○日時 平成29年9月22日 午前10時00分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 認定第1号 平成28年度網走市各会計歳入歳出決算について
2. 認定第2号 平成28年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算について
3. その他

○出席委員（8名）

委員長	平賀貴幸
副委員長	立崎聡一
委員	金兵智則
	川原田英世
	近藤憲治
	田島央一
	永本浩子
	古都宣裕

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

副議長	渡部眞美
-----	------

○傍聴議員（1名）

松浦敏司

○事務局職員

事務局長	大島昌之
事務局次長	細川英司
総務議事係長	高畑公朋
総務議事係主査	寺尾昌樹
係	金川由樹

午前10時00分開議

○平賀貴幸委員長 おはようございます。

本日の出席議員は8名で、全委員が出席しております。

ただいまより平成28年度各会計決算審査特別委員会を開会いたします。

本日の審査日程は、認定第1号平成28年度網走市

各会計歳入歳出決算について及び認定第2号平成28年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算についての取りまとめを行います。

初めに、認定第1号について、各委員から賛否と総括的な意見について発言をしていただきます。

なお、前年度は附帯意見をつけることなく結審いたしましたでしたが、この附帯意見を付すか否かについてもあわせて御発言願います。

それでは、御発言ください。

○川原田英世委員 さまざまな議論があったところでもあります。さまざまな課題等もあったのかなと思います。特に収納率の向上については、これまでも議論がされて向上に努めていくということで、今回も取り組みの成果というのは一定程度あったのかもしれないですけども、やっぱりまだまだ課題というのが大きいのだということが明らかになったと思います。

ともあれ、議論の中身について今後も継続して向上に向けて取り組んでいくということで、確認をさせていただきましたので、附帯意見等をつけるほどではないのかなというところで、賛成ということで考えるところです。

以上です。

○田島央一委員 決算に関しては認定の方向で考えております。

議論の中で、自分も3回目の決算委員会なのですが、1回目からずっと職員の時間外勤務の状況を質問しているのですが、特に観光課の時間外勤務の状況が年々悪化していつている状況で、これは何かならないのかという大きな課題はあるのですけれども、次年度に向けては組織再編もされたので、そこが改善されることを期待したいとは思いますが、そういった課題はあるのかなと思っております。

附帯意見に関しては、特段つけなくても大丈夫かなと思っております。

以上です。

○金兵智則委員 認定第1号ですけども、一般会計につきましては黒字決算ということで、一定程度の評価はしているのかなというふうに思います。

ただ、まだまだ財政的には厳しい状況が続くということもあります。その中で、議論の中で確認がで

きたというところでいけば、事業検証については、もう少し精度を高めていただきたいと。次年度以降も続く事業については特にというところもありますけれども、事業の精度を高めて次年度以降の事業の実施に生かしていただきたいということは、思うところでありました。

あとは特別会計につきましては、例年議論に上っております網走漁港、能取漁港につきましても一定程度赤字の改善に努めているのかなというふうには思いますけれども、まだまだ厳しい状況でありますので、全庁的な取り組みを進めていただきたいというふうに思います。

そのような中で、附帯意見を付すことなく、認定したいというふうに思います。

○近藤憲治委員 私どもの会派、平成28年度の決算につきましては、非常に限られた財源の中で適切な市政運営に努められているというふうに認識させていただいております。

ただ、いかんせん各財政指標を見ても、非常に厳しい財政状況であるということは変わりもなく、また、その中期財政見通しの議論もさせていただきましたけれども、今後も決して楽観的な財政状況にはなっていないだろうというふうに受けとめているところでございます。

財政の弾力性が弱い中で、今後も工夫をして市政運営に努めていただきたいというふうに認識をしているところでございます。特に人口減少含めて、税収の先細りも大いに予想されますので、今まで以上に知恵を出していかなければいけないのかなというふうに受けとめているところでございます。

種々議論もさせていただきましたけれども、平成28年度一般会計の予算につきましては、附帯意見を付すことなく認定をしたいというふうに考えております。

また、特別会計のネックになっております能取漁港と網走港整備特別会計につきましては、やはりまだまだ厳しい状況が続くというふうに考えております。土地の売却含めて積極的な努力を重ねていただきたいと考えておりますが、こちらも含めてまして特別会計も認定したいというふうに考えております。

以上でございます。

○永本浩子委員 認定第1号の平成28年度網走市各会計歳入歳出決算につきましては、認定したいと思います。

一般会計の実質収支額は、6,814万円で前年度より1,484万円の増で黒字決算となりました。台風が3回連続で上陸したことによる大雨の被害や、除雪費の増加などありましたが、ふるさと寄附が堅調に増加して7億円を超え、歳入の根幹でもある市税収入が収入率92.5%となり、前年度に比べると0.7ポイントの増になりました。

一方、収入未済額は全体で前年より7,443万円の減となり、未納対策の成果があらわれる結果となりました。

また、実質公債費比率は0.3ポイントの増となりましたが、財政力指数は前年度比0.014ポイント増加し、市債残高は343億507万円で前年度より1億324万円の減少となり、少しずつではありますが、改善の方向に向かっていると評価したいと思います。

しかし、依然として人口減少や少子高齢化、厳しい経済状況が続いております。引き続き自主財源の確保と財政収支の改善に向けた懸命な取り組みが必要だと思います。

また、網走の経済の根幹とも言える農業、漁業の一次産業とともに、観光事業のさらなる展開を初め、企業誘致やスポーツ、文化の合宿誘致、地場産品の販路拡大やポートセールスなど、網走の経済に直結する事業に積極的に取り組んでいただき、教育、福祉など市民生活の充実と向上になお一層力を入れていただきたいと思います。

特別会計につきましては、16億2,110万9,000円の赤字決算となりましたが、前年度よりは能取工業団地の土地売却などにより、累積赤字が2億189万2,000円の減となったことは評価したいと思います。

しかし、徐々に減ってきてはいるものの、網走港、能取漁港の多額の累積赤字は、当市にとっては最も大きな課題であります。今後とも、赤字削減に向けたさらなる努力が必要だと思います。

また、全体を通して、予算額に対して執行額が少ないケースが多かったように思いますが、さまざまな工夫で節約をしながら、当初の予定の事業を行っていることもよくわかりました。

しかし、もう少し周知の仕方を工夫するなどすれば、もっと有効に使えたのではないかなという事業や、根本から見直す時期に来ているのではと思われる事業もありました。

市民の皆様からの大切な税金を預かっているとい

う原点を忘れず、今後も適正な予算の執行に当たっていただきたいと思います。

附帯意見についてはつけずに認定したいと思いません。

以上です。

○古都宣裕委員 一般会計決算についても、各所特別会計についても鋭意努力の跡が認められることから、認定という方向で考えております。

また、附帯意見については付さない方向で、また、一部細かい部分ではありますけれども、気になるところありましたけれども、附帯意見を付すまでには至らないとの考えのもと、認定したいと思いません。

○平賀貴幸委員長 次に、認定第2号について、各委員から賛否と総括的な意見について、発言をしていただきます。

なお、水道決算につきましても、前年度は附帯意見をつけることなく結審をいたしました。この附帯意見を付すことか否かについてもあわせて発言をお願いします。

○川原田英世委員 認定第2号についても、附帯意見なく認定すべきものと思います。

○金兵智則委員 認定第2号ですけれども、今、附帯意見を付すなくということでありましたけれども、私もそれでいいというふうに思います。

人口減少並びに節水意識の高まりからも給水量が減ってきているという中で、収益が減ってきておりましたけれども、それに伴い費用のほうも削減に努められているということでもいいのかなというふうに思いますけれども、導水管などの更新もこれから入って、まだまだ続いていくというふうに思いますが、市民の理解を得ながら着実に進めていっていただきたいということを申し上げさせていただきたいというふうに思います。

○近藤憲治委員 認定第2号につきましても、附帯意見を付すことなく、認定というふうに考えております。

導水管の更新が継続的に行われている中、一方で給水人口の減少で、収益的には体制を維持していくのがなかなか難しい中でしっかりと努力をされているという認識をしております。

今後も、導水管の更新を積極的に進めながら、市民の生活インフラをしっかり守っていただきたいと思いますというふうに思います。

以上でございます。

○永本浩子委員 認定第2号につきましては、給水人口が634人、給水戸数も135戸の減となる中で、単年度収支では1億6,853万円の純利益が生じ、黒字決算となりました。

前年度比では52万8,000円の減益とはなりましたが、12年連続の黒字決算となったことは大いに評価すべきだと思います。

しかし、今後もさらに人口減少が進み、節水意識の高まりや節水機器の普及などにより給水量の減少が続くと思われ、また水道施設の老朽化による工事等にも多額の経費が見込まれます。長期展望に立った上での経営の効率化と財政の健全化に努めていただきたいと思います。

また、各地で相次ぐ災害を通して、水の大切さを改めて実感しております。市民の皆様の命をつなぐ安全で安心な水を今後も安定して供給できるよう、災害等に備えた整備や、危機管理にも力を入れていただきたいと思います。

認定第2号についても、附帯意見をつけずに認定したいと思いません。

○古都宣裕委員 水道事業会計についても、損益分岐点がたしか7億8,500万円とありましたが、給水人口の減少、また導水管の布設がえ等でこの分岐点も増減することも加味しながら、鋭意努力されていることを評価しつつ、附帯意見なしでの認定というふうに考えております。

○平賀貴幸委員長 以上で、各委員の賛否についての発言を終了いたします。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時13分休憩

午前10時29分再開

○平賀貴幸委員長 休憩前に引き続き、再開いたします。

先ほど各委員から、認定第1号及び認定第2号について、賛否と総括的な御意見をいただきました。

ここで、お諮りをいたします。

まず、認定第1号平成28年度網走市各会計歳入歳出決算については、全委員の意見として原案認定すべきものということを取りまとめさせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

あわせて各委員より認定第1号については、全委員の意見として附帯意見を付さないという御発言があったところであります。

ここで、お諮りをいたします。

認定第1号平成28年度網走市各会計歳入歳出決算については、全委員の意見として附帯意見を付さないということで取りまとめさせていただきますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第1号は全員の意見として附帯意見を付さないことに決定をいたしました。

次に、認定第2号平成28年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算については、全委員の意見として原案可決及び認定すべきものということで、取りまとめさせていただきたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第2号は全委員の意見として原案可決及び認定すべきものと決定をいたしました。

また、各委員より認定第2号については、全委員の意見として附帯意見を付さないという発言があったところです。

ここで、お諮りいたします。

認定第2号平成28年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算については、全委員の意見として附帯意見を付さないということで取りまとめさせていただきますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、認定第2号は全委員の意見として附帯意見を付さないことに決定をいたしました。

以上をもって、本委員会に付託された案件の審査は全て終了いたしました。閉会することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ここで私から一言御挨拶を申し上げます。

去る9月5日、平成28年度各会計決算審査特別委員会が設置され、私が委員長に、立崎聡一委員が副委員長に選任されまして、延べ4日間にわたり審査をいただいたわけですが、その間、委員の皆さんにおかれましては大変熱心に御審査をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

それでは、以上で特別委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。